

# Tokyo Kasei Press

## 学園新聞

### 第70号

学校法人 渡辺学園  
発行 総務部総務課  
〒173-8602 東京都板橋区加賀  
1-18-1 電話(3961)5226

東京家政大学 大学院  
東京家政大学 短期大学部  
東京家政大学 附属女子中学校  
附属女子高等学校 附属女子中学校  
附属みどりヶ丘幼稚園

### 主な内容

- 重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定された大角幸枝名誉教授へインタビュー… 1面
- 現ペルー大使館の特命全権大使 エラルド・エスカラ閣下が来校… 1面
- 第55回緑苑祭開催… 2面
- ひらめき☆ときめきサイエンス ~大学の研究室へ~開催… 2面
- 冬季に流行する感染症にご注意ください!… 3面
- 緑窓会より『自主自律のシンボル塔』贈呈… 4面
- 大学10号館等改修工事及今冬の節電のお願い… 4面

## 重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定された

# 大角幸枝名誉教授へインタビュー

### 学生記者企画

### 学生記者が学園の“気になる!”を紹介

大角幸枝名誉教授は平成27年工芸技術の部「鍛金」において女性初の重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定されました。今回学生記者の中村祐希さんが大角先生に貴重なお話を伺いました!

#### 金工の道に進むまで

静岡県に生まれ、親戚が海の家をしていたことから子どもの頃はよく海に行き、貝拾いや潮干狩りなどをしました。その景色は今も自分の中に印象深く残っています。初めて東京を訪れた高校2年生の時に、フランスの彫刻家マイヨールの展覧会を見ました。そのインパクトの強さと存在感に衝撃を受け、元々ものを作るのが好きだったこともあり、芸術の道に進むことを決めました。金工に出会ったのは、東京芸術大学に進学した後のことです。他の人がやっているのを見て面白そうだと思うことがきっかけでした。

#### 作風について

金工の技法である「鍛金」と「彫金」と「布目象嵌」を3人の先生から学び、これらを組み合わせることで表現にしました。元々は、金属の表面に模様などを入れる「彫金」を学んでおり、表面の装飾が先だったのが、自然とその下地となる金属を金鍍などで意図した形状にする「鍛金」の技術も学びたいと思うようになりました。また、彫金の技法の内の一つが「布目象嵌」です。「鍛金」で作った器に、細かい切れ目を入れて鉛や金箔を打ち込む「布目象嵌」で装飾した形が今の主な作風になっています。

海・風・潮など自然をテーマにしたものが多いです。動いているものや形のないものを形にすることに魅力を感じています。主観的にとらえられるので形にしやすいついた面もあります。日本の金工の一つの特徴として、金属のいろいろな色を使うことが挙げられます。最初は色とりどりの千代紙のような作品を作るのが好きでしたが、いろいろな色を合わせて表面だけ飾ってもあまり表現として深くないと感じ、金と銀のシンプルな色で表現する今の形になりました。

#### 作品の着想を得る瞬間

日常の中でひよいと出てきます。常に作品について考えて人に接したり、ものを見たりしていると出てきます。シリーズを作るとやりやすいかもしれせん。けれど、あまり考えもせずにつけていくとマンネリになって飽きられるような仕事になってしまおうので常に新しいものを探しています。

#### 次の作品について

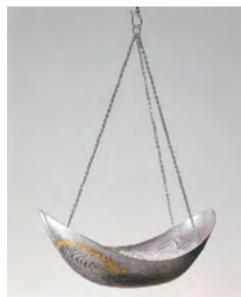
今のシリーズは船なのですが(写真)、次は雲にしようと思っています。雲の表現の仕方として、東洋は形がはっきりしているもの、西洋は写実的なものが多いですが、私は孫悟空の乗っている筋斗雲のようなものをイメージしています。東洋・西洋の伝統を踏まえて自分の雲を作りたいです。

#### 伝統の継承について

自分に課せられた仕事に



大角幸枝 名誉教授



第62回日本伝統工芸展 南鐘吊舟花生「渡海」

マにしたものが多いです。動いているものや形のないものを形にすることに魅力を感じています。主観的にとらえられるので形にしやすいついた面もあります。日本の金工の一つの特徴として、金属のいろいろな色を使うことが挙げられます。最初は色とりどりの千代紙のような作品を作るのが好きでしたが、いろいろな色を合わせて表面だけ飾ってもあまり表現として深くないと感じ、金と銀のシンプルな色で表現する今の形になりました。

#### 取材を終えて

先生のアトリエには沢山の金鍍や墨などの用具、机、小さな火床があり、金鍍は全て同じように見えて、先端が尖っていたり丸くなっていたり様々でした。金属を叩いて形を変えていく様子もそれぞれ異なるそうです。金鍍で叩いた後の凹凸は触れるととてもなめらかな感じがしました。金と銀の優しさを感しました。金属といえば、大量生産で固く冷たい印象がありました。大角先生を通して得られた印象は全く逆の柔らかく温かいものでした。昔の生活の中の金属はもっと温かいものだったのかなと思いかいものだったのかなと思いかい、身の回りの金属にもっと目を向けたくなりまし。朗らかに笑う大角先生はとても楽しそうでした。キラキラと輝いていました。

大3栄養 中村祐希



学生記者中村祐希さんの質問に丁寧に答えてくださいました

気があり常に動いているとても魅力的な場所でした。学生は活発で少しでも多くの事を取り込もうという気概があり、日本の学生はおとなしいと感じました。

#### 家政大生へ向けて

積極的に外に出ていろいろなものを見て欲しいです。世界は広く沢山の知らないことがあります。多くのことを知り、自分の足元を見つめて歩いて欲しいです。いろいろな学科・科があるので横のつながりをもっと持つと良いと思います。

6月25日(木) 現ペルー大使館の特命全権大使であるエラルド・エスカラ閣下が、全学共通教育科目人間教育(a)群、酒井藤恵講師担当の「世界のことばと事情」にゲストスピーカーとして来校されました。笹井邦彦教育・学生支援センター1所長、古川寛共通教育推進室長、受講クラス代表で青山美里・加藤かりんさんやその他の学生たちがお出迎えし、川合貞子学長はじめ役職者と懇談を行いました。その後、授業ではペルーの歴史、経済、食文化、日本との関係等についてスペイン語で講演されました。同行の通訳による日本語で学生たちの理解は深まり、終始興味深い内容に熱心に聞き入っていました。また、岡村愛美・古暮知奈・神田瞳・久野颯耶香さんが準備したスペイン語でのスピーチや、全員での合唱「故郷」をエスカラ閣下に聴いていただきました。終了間際に、閣下より授業で話されたペルーに関するクイズが出題され、見事正解した



現ペルー大使館の特命全権大使 エラルド・エスカラ閣下が来校

海老名裕希・金井塚千秋・神田瞳・糸谷緋呂子・門井紗貴子・木谷夢歩さん6名がペルー大使館のデザイナーに招待されました。



授業での記念撮影



懇談の様子

写真:前左から酒井藤恵講師、エラルド・エスカラ閣下、川合貞子学長、笹井邦彦教育・学生支援センター所長、後列左から学生5名、古川寛共通教育推進室長、榎本武史教育・学生支援センター事務部長

### 第5回 渡邊辰五郎賞

2月 未決定

日本近代の黎明期である明治時代の偉大なる教育家として評価されている渡邊辰五郎の偉業を讃え、後世に伝えるため、平成23年度に創立130周年を記念して「渡邊辰五郎賞」を創設しました。渡邊辰五郎賞は、本学の建学の精神である「自主自律」に相応しく、社会で活躍するとともに貴重な貢献をした卒業生を称えるものです。

- \*渡邊辰五郎賞(1名) 記念メダル及び副賞(30万円)
- \*渡邊辰五郎奨励賞(2名) 記念メダル及び副賞(10万円)

既に応募は、12月31日に終了し、現在、渡邊辰五郎賞選考委員会にて、選考を進めており、2月末日に決定します。詳細については、学園のHPをご覧ください。

(総務課内「渡邊辰五郎賞」事務局)



# 「緑苑祭を終えて…」 緑苑祭実行委員にお話を伺いました

狭山緑苑祭実行委員長 子ども支援学科2年 生島彩野さん  
副委員長 看護学科2年 藤木美咲さん  
副委員長 子ども支援学科1年 永井純麗さん

1、緑苑祭当日を迎えるまでに苦労したことや、実行委員としてやりがいがあったことを教えてください。

4月に2期生を迎え、昨年度よりもよい狭山緑苑祭を開催しようとする企画を準備しました。初めて取り組んだ食品企画は特に大変で、保健所への挨拶、衛生面の配慮、メニューの考案や狭山食品会の開催まで、資料がない状態から進めていくのはとても苦労しました。しかし全員が同じ目標に向かって一丸となり達成できた時の嬉しさは、実行委員だからこそ感じる事ができたと思います。

2、緑苑祭を終えての感想を教えてください。

昨年度に引き続き実行委員長を務め、嬉しさと不安の両方がありました。円滑に進まず苦労した時もありましたが、実行委員一人ひとりの支えと頑張りで乗り越えられました。仲間には感謝の気持ちでいっぱいです。当日はたくさんの方に来場いただき、昨年度より一層盛り上げることができてよかったです。

3、思い出の写真を紹介してください。



オープニングセレモニーのあと川合学長と実行委員全員で撮影したものです。全員で作ったくす玉が無事に割れてみんなで喜びました!!

4、来年度に向けてのメッセージをお願いします。

まだ学生も少なく、集客など大変なこともあると思いますが、学部の特徴を生かした企画や地域の方が楽しめる企画など続けていってほしいです。手作り感のある温かな学園祭が更に盛り上がっていくことを期待しています。みんなで協力してよい学園祭にしてください。応援しています!

緑苑祭実行委員長 児童学科2年 関谷実咲さん  
副委員長 英語コミュニケーション学科2年 今西望さん

1、緑苑祭当日を迎えるまでに苦労したことや、実行委員としてやりがいがあったことを教えてください。

苦労したことは、参加団体が多く毎回の運営委員会や連絡の伝達が円滑に進まなかったこと、委員会内に過去の資料が残ってなかったこと、2・3年生がいないために1年生のみで企画を進めなければいけなかったことです。やりがいがあったことは、協賛をいただくために企業へ連絡して会社訪問したこと。企業を訪問する機会は滅多にないので良い経験になりました。

2、緑苑祭を終えての感想を教えてください。

大学に入ったら学園祭の企画と運営に携わりたいと決めていました。副委員長になり、大学の課題やアルバイトとの両立が大変な時もありましたが、実行委員会のメンバーに支えてもらい乗り切ることができました。大好きな仲間と緑苑祭を作り上げることができ、最高の思い出になりました。支えてくださった皆様に心から感謝申し上げます。

3、思い出の写真を紹介してください。



2日目の夜に撮影したものです。2日間無事に終了したということで実行委員で集まり、乾杯しました。

4、来年度に向けてのメッセージをお願いします。

家政大は女子大ということもあり、他大学の学園祭に比べ規模が小さく、盛り上がり欠けると感じるかもしれませんが、子どもからお年寄りまで楽しめる地域に密着した企画等、家政大ならではの良さがあります。多くの人が協力して一つのものを作り上げることは簡単ではありませんが、得られるものがあるはず。今まで受け継がれてきた実行委員会の団結力で、来年度はさらに素敵な緑苑祭を作れるよう頑張ってください。



狭山キャンパス当日の様子



板橋キャンパス当日の様子



講義3日目の様子

平成27年度 子ども大学 さやま・いるま学習プログラム

	1限目	2限目
第1日 7月25日	入学式	グループで集中&表現〜動きと決めのポーズでオンステージ!〜
第2日 8月22日	フィンガーピアノをつくってあそぼう!〜どうしてド・レ・ミが鳴るの?つくって、かなで、感じてみよう!〜	
第3日 9月12日	さやまキャンパス学内自然探検ツアーとネイチャーアートボックスの制作〜「自分(人)と自然」イメージをふくらませて、つくってみよう!〜	
第4日 10月31日	看護のお仕事を体験しよう! ①手当て 包帯を使って巻いてみよう! ②新生児のお世話を体験してみよう!	
第5日 11月7日	多文化理解トレーニング〜グローバル市民になってみよう!〜	修了式

地域連携推進センターは、地域社会の皆さまとの繋がりを大切に、近隣の市との連携協力を図り、共催事業の企画・開催や、開かれた大学として家政大学の特性を活かした公開講座や研修会を開催しています。今年度で5期目となり、狭山市・入間市の教育委員会と実行委員会を組織し、小学校4〜6年生を対象に60名の子ども達が集まり開催されました。今年度は、狭山校舎の先

生方を中心に講義をしていただき、その中で、講義3日目の「さやまキャンパス学内自然探検ツアーとネイチャーアートボックスの制作」では、広大な狭山校舎の自然を散策し、先生の説明に熱心に耳を傾けながら、植物を観察したり、袋いっぱい集めた木の実は葉っぱを使って、オリジナルアートボックスを作り上げ大喜びでした。今年も来賓を始め保護者の方々に大好評でした。

重要な能力研究の成果をふまえた「ひろがる看護師の仕事」といってみました。開催当日は、看護学科1・2年生17名のボランティア学生の協力もあり、なんとか無事に終了できました。協力した看護学科2年生の皆さんの感想「普段接しない子供達に接して、これから自らが社会に出る上でとて



プログラム(担当教員)  
・ 科研費、看護師の仕事について(立石和子)  
・ 東日本大震災での活動(齋藤麻子)  
・ クロスロードゲーム:災害時の対応、非常時のトイレ(谷岸悦子)  
・ 非常食の試食(齋藤正子)  
・ AEDの使用法と練習(有澤舞、太田美帆)  
・ アカペラサークルによるビデオ(クッキータイム参加者と学生との対話)  
・ 未来博士号の授与(長島文子)

## 平成27年度 子ども大学 さやま・いるま 第5期修了

## 大学の研究室へ「開催」ときめきサイエンス(日本学術振興会委託事業)

## 板橋区地域子育て支援拠点事業「森のサロン」が5周年 人気の「土曜日アウトドアサロン」とは?!



ヒューマンライフ支援センターが平成15年より開設した「Eco」すくすくサロンが、委託を受けて板橋区地域子育て支援拠点事業「森のサロン」となり平成27年3月で5周年を迎えました。昨年度のひろばの利用者は約7800組となり、リピーターの利用がほとんどで、兄弟姉妹連れでの参加も多くみられます。地域の親子、学生、教員、各種専門家、卒業生が集い、つながる場を目指しています。教員や外部講師による子育て支援講座、学生による絵本の読み聞かせやミニコンサート、利用者が講師となるEco講座など大学ならではの企画も行っています。

特に人気なのが、土曜日アウトドアサロンです。家政大の自然や学科の特性を生かした遊びの提案をしていく特別プログラムです。草花あそび、水遊び、野外でお絵かきなど、色や光、感触、音、におい、味など、五感を使って楽しむことを意識して計画しています。11月には本学保育科卒業生で、現在スラックラインのプロアスリートとして活躍中の福田恭巳さんを講師に迎え、「親子でチャレンジスラックライン」を開催しました。身体をしながら使うこのスポーツは、全身のバランス感覚が必要となります。子どもと身体に詳しくい福田さんならではの提案で、ラインの上にもう一本ロープを張ることで、子ど

も重要な事を学ぶ機会となった」でした。そして、看護学科の学生、事務職員や看護学科の教員のご協力のもと無事開催できました。ことをここに深く感謝いたします。来年度も企画する予定です。12月はピザ窯と七輪の「火」を囲み、学生と親子が一緒に冬の味覚を楽しみました。また、プロのアートイラストやアトリエリスタを講師に迎え「学生がつくるサロンプロジェクト」も始動しました。今後の活動にご期待ください。

# 図書館



## 選書ツアー開催

今回は6名の学生が、丸善でのツアーに参加してくれました。学生が選びに選び抜いてくれた約50冊、ぜひ図書館へ借りに来てください。

## 図書館総合展に出展

ポスターセッションで、Library Matesの活動を紹介します！キャラクター「パニー」が図書館キャラクター「パニー・ホンガスキー」が出演しました。

## 読み聞かせ会を開催

附属みどりヶ丘幼稚園にて、読み聞かせ会を開催しました。興味津々の園児たち相手にしっかり練習の成果が出せました。

他にも様々な活動を行っているので、あなたも来年度はぜひ参加しませんか？

# 中学校・高等学校

English Roomのイベントをたくさん企画してくれています。

8月より、EFL(語学指導等を行う外国青年招致事業)プログラムを通してカナダ出身のアリーシャ先生が中学校・高等学校に派遣されています。笑顔が素敵なアリーシャ先生は、中学生と一緒にランチを食べたり、放課後English Roomを開放して英会話レッスンをしてくれたりして、すっかり生徒たちの人気者です。アリーシャ先生はカナダで美術を子供たちに教えていました。高校生の時から日本に興味があり、特に江戸時代の版画に強く惹かれ、カナダとは違う文化を持つ日本に来てみたいと思っていたそうです。美術の専門知識や豊富な経験を生かして、中高生と一緒にハロウィンの飾りを作るなど、



外国語等指導助手アリーシャ先生

# ★ Library Mates 活動報告 ★



読み聞かせの様子



図書館総合展での様子



選書ツアー参加のみなさん

◆春期休業中の貸出  
春期休業中は、通常よりも長い期間貸出ができません。寒い季節は暖かい部屋でゆっくり読書をしてみては？  
4月からの新生活に備えてたくさん知識を蓄えよう！

春期休業中の長期貸出(板橋図書館)

所属	貸出日	貸出冊数	返却期限日
大1-3・短1	1/18(月)~3/28(月)	5冊	4/12(火)
院在学年	1/18(月)~3/12(土)	10冊	
大4・短2	1/18(月)~3/17(木)	5冊	3/17(木)
院卒業学年		10冊	

春期休業中の長期貸出(狭山図書館)

所属	貸出日	貸出冊数	返却期限日
大1-3・短1	1/7(木)~3/25(金)	5冊	4/11(月)
院在学年	1/7(木)~3/11(金)	10冊	
大4・短2	1/7(木)~3/17(木)	5冊	3/17(木)
院卒業学年		10冊	

卒業学年のみなさん  
貸出中の図書はすべて3月17日(木)までに返却してください。

# 幼稚園

## 「楽しかったね、運動会」

幼稚園では10月11日(日)に運動会を行いました。運動会を楽しみにしていた子ども達は、何日も前から「明日は運動会?」「運動会、楽しみだなー」と話しながら、ドキドキ・ワクワクの毎日を過ごし、それぞれに運動会に向けて期待感を高めていました。今回は前日の夜からの雨のため、体育館での開催となりましたが、子ども達は天気も吹き飛ばしてしまいうれしい気持ちで競技や表現に取り組みました。



年中さんも年少さんも一緒に踊ろう♪

かけっこでは、ここぞとばかりに自分の力を発揮して思いつき走りまわりました。一番の盛り上がりを見せたのは、年長組のリレーです。短いレースの中でも様々なドラマがあり、喜びも悔し涙も経験しましたが、それもまた、子ども達の中で一つの大きな成長に繋がったようです。運動会が終わってからは、それぞれの学年の踊りを教え合いながら一緒に踊ったり、年長組がリレーをして遊んでいるところに年中組も仲間入りしたりして、異年齢の関わりも見られています。

# 博物館

## 企画展 嫁ぐ日・晴れの日・華やぐ日 好評のうちに終了

今回の企画展では、和装と洋装の花嫁衣装を中心に、結婚に関する儀礼等を紹介しました。結婚に対する意識が多様化しても、かわらず女性の憧れであり続ける婚礼衣装。華やかな着物やドレスを前に、「どの時代の衣装も素晴らしく見とれてしまった」「特別な日を迎える想いが伝わってきました」等のご感想をいただきました。



企画展展示風景



「婚礼写真でたどる大正から平成の花嫁」

卒業生の皆様からご提供いただいた写真を中心とした「婚礼衣装でたどる大正から平成の花嫁」の展示は、世相を反映した写真が興味深いと好評でした。イベント「水引の小物作り」「ギャラリートーク」にもたくさんの方にお集まりいただきました。

企画展に関連して、東京家政大学女性未来研究所との共催シンポジウム「恋愛と結婚、その変遷を考える」家族・儀式・男女の意識から「縁起祭2日目」に行いました。現代の結婚をめぐって、様々な立場で活躍されている登壇者の発言に刺激され、社会や家族、個人のありかたを考える有意義な時間となりました。



シンポジウムの様子

かせい 森のおうち  
造形表現学科の学生が制作した遊具が設置されました  
8月30・31日・9月1日、造形表現学科の学生のアイデアが形になった11種類の遊具「かせいこどももの」ツリーハウスと遊具たち」が園庭等に設置されました！当日はあいにくの雨でしたが一生懸命作業してくださいました。子どもたちはとても楽しそうに使っています。今回はその一部をご紹介します。



遊具設置の様子

平均台のように渡ったり、ベンチとしても使えます



ボールの上に乗ってゆらゆらできます



クモの巣ネット ネットの上によじ登ったりハンモックのように寝ころがると気持ちいいです



森の中のステージ 劇場や発表スペースになっています



ツリーハウスの中はこのようになっています。



ツリーハウス 森の中の暮らしはここです！たくさんのごっこ遊びができます

# 保健センター

## 冬季に流行する感染症に「ご注意ください」

- インフルエンザ
- ① 予防するには 栄養、睡眠を十分にとり、免疫力を高めておく。
  - ② こまめな手洗い、うがいを行う。
  - ③ 予防接種を受ける。発症する可能性を減らし、発症時の重症化を防ぐ。
- かかってしまったら
- ・ 38℃以上の急な発熱の時、早めに医療機関を受診し、医師の指示を守る。
  - ・ 発熱から48時間以内のインフルエンザ治療薬の使用は、発熱期間の短縮等の効果がある。
  - ・ 十分な休息と水分を摂る。
  - ・ マスクを着用する。
- 感染力胃腸炎ノロウイルス
- ① 予防するには 帰宅後、トイレ後、調理前、食前の手洗いをを行う。
  - ② 食品(特に二枚貝等)は中まで十分に加熱する。
  - ③ 感染者の嘔吐物、排泄物に直接触れず、マスク、手袋着用し処理。汚物中のウイルスが飛び散らないように塩素系漂白剤を含ませたペーパータオル等でふき取り、ビニール袋に密封して捨てる。処理後は空気中にウイルスが浮遊していることがあるため、十分に換気する。
  - ④ かかってしまったら 嘔吐、下痢、発熱、腹痛により、脱水症状が生じるので医療機関を受診する。
  - ・ 現在、ノロウイルスに有効な薬剤はなく、適切な水分補給が必要。
  - ・ 安易な下痢止め薬の服用は避ける。
- ◆ 通年注意すべき感染症
- ・ 咳、痰、微熱等が2週間以上続く場合は、結核や百日咳、肺炎等の可能性があります。早めに医療機関を受診しましょう。

# よりよい交通マナーは、一人ひとりの思いやり・心がけから!!

1. 横に広がらず右側通行で、一般通行者の迷惑にならないように心掛ける。
2. 大声で話さない! 住民の方に迷惑です。
3. 踏切の遮断機が下がり始めたら、踏切を横断しない。
4. 横断歩道の信号無視はしない。
5. 歩きながら、携帯電話、スマートフォンの操作をしない。
6. 歩きながら飲食をしない。
7. ゴミのポイ捨てはしない。



緑窓会より「自主自律のシンボル塔」贈呈

平成26年4月緑豊かな狭山キャンパスに看護学部と子ども学部が誕生しました。述べ10万7千名の卒業生は、心からお慶び申し上げます。

平成27年9月25日(金)15時、川合貞子学長・今留忍看護学部長・岩田力子ども学部長・猪野秀子かせい森のおうち園長を始めとし38名の方々が見守る中、シンボル塔の贈呈式が行われました。

学園は創立から134年、渡邊辰五郎先生の精神を受け継いだ時が、確実に刻まれ、更に未来に向かって永遠に時を刻み、益々発展し続けるようにとの祈りが籠められております。人生行路を祈る権のモニュメントに刻まれた生活



自主自律のシンボル塔

第2回「学生と教職員の交流会」開催

7月31日に学修・教育開発センター主催の第2回「学生と教職員の交流会」が開催されました。これは、学生と教職員が意見を交換するカフェ形式の会です。今年度は学生が各テーブルの進行役となるなど、「学生が主役の交流会」を目指しました。

和やかな雰囲気の中 意見交換や発表が行われました



「ユースファイル」 渡辺学園在学生特待生奨学金授与式開催

6月17日、本学創立130周年を記念して創設された渡辺学園在学生特待生奨学金授与式が行われました。この奨学金制度は学業成績・人物について極めて優れた学生を選考・決定するもので、奨学生は後期授業料が免除になります。今年度は大学59名、短大3名の合計62名が採用されました。授与式では、学長より奨学生に採用通知が手渡され、学生代表として学園運営に協力いただいたとの挨拶がありました。



川合学長より採用通知の授与

教職員研究会開催

9月1日教職員を対象とした教職員研究会が開催されました。この研究会は魅力ある学園を目指し、教育研究及び学生指導の向上を目的として教職員協働で毎年開催される研究会です。今年のテーマは「個の充実、そして組織の成長へ」。第1部の基調講演では、名古屋大学高等教育研究センターの夏目達也先生に「教育改善を楽しく進めるためのヒント」と題してご講演いただきました。第2部は教員と職員に分かれ、教員は引き続き夏目達也先生による「シラバスの書き方ワークショップ(到達目標を中心に)」、職員は筑波大学大学研究センター吉武博通先生による「職員が拓く大学の未来―マネジメントとリーダーシップの確立に向けて―」について研修が行われ

ました。第3部の教職員カフェ兼懇話会では「5年後の東京家政大学の教育はどうあるべきか(どうあつてほしいか)」「そこに近づくために、教員にできること、職員にできること・個人としてできること、組織としてしなければならないこと」について教職員混成のグループを編成して、活発な意見交換が行われました。第1部から第3部までそれぞれのテーマを学んだ教職員は研究会の目的を達成し、充実した研究会となりました。

平成27年度 防災訓練実施

10月8日(板橋キャンパス)、10月15日(狭山キャンパス)、学生等・大学・短大教職員を対象に、地震による火災を想定した防災訓練が実施されました。避難場所が中高グラウンド(板橋)と図書館グラウンド(狭山)となり、多くの学生・教職員が参加しました。訓練終了後には、消火器による消火訓練、応急救護訓練、起震車体験(板橋キャンパスのみ)が行われ、多くの方が積極的に参加しました。防災訓練は毎年実施しています。災害時に適切に行動できるよう、実践的な訓練を行うことが大切です。

ぜひ参加しましょう。



狭山キャンパス 応急救護訓練 狭山キャンパス 消火訓練 板橋キャンパス 起震車体験 板橋キャンパス 避難完了後、川合学長より講評

るPRビデオの撮影が行われました。平野貞夫町長が来校され、川合貞子学長と対談を行いました。制作されたPRビデオは、後日長南町のホームページに掲載される予定です。



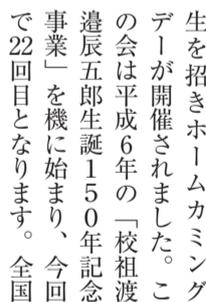
川合貞子学長 平野貞夫町長

ホームカミングデー開催

緑苑祭期間中の10月24日、85周年記念館学生食堂にて、昭和40年・50年・60年・平成7年の大学・短期大学・平成9年の大学院卒業生を招きホームカミングデーが開催されました。この会は平成6年の「校祖渡邊辰五郎生誕150周年記念事業」を機に始まり、今回で22回目となります。全国から卒業生326名が出席され、懐かしい恩師や久しぶりに再会したクラスメイトとの旧交を深め和やかなひと時を過ごしました。商品展示技能検定3級試験で成績優秀賞を受賞した厚生労働省の定めにより東京都で実施された国家資格「商品展示技能検定3級」を受検した服飾美術



第2部研修(職員) 講師 吉武博通先生



第1部基調講演(教職員) 講師 夏目達也先生

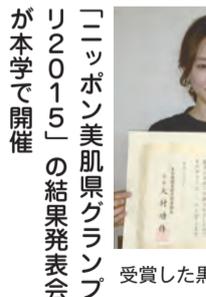
千葉県長南町のPRビデオの撮影が行われました

10月16日(金)本学園の校祖渡邊辰五郎先生の生誕地である千葉県長南町が合併60周年を記念して制作す

大学10号館等改修工事 及今冬の節電のお願い

大学10号館(図書館1階)と学生ホールの空調設備・照明設備及び天井の耐震対策工事が2月末までの予定で始まっています。工事関係者の出入りや資材の搬入があり、御不便をおかけしますが、安全に配慮し仕事を進めますのでご協力のほどお願いいたします。今冬の暖房時の室温目標は19℃(空調機設定温度で

学科4年黒澤理香さんが、実技及び筆記共に優秀な成績で合格し、11月10日に成績優秀賞を受賞しました。商品展示技能検定は国家資格として実施の技能検定で、デコレーター、VMD(ビジュアルマーチャンダイザー)、アパレル販売職等多くの職種に求められる資格です。黒澤さんは「3級技能士の資格を生かしてアパレル企業に就職し、VMD担当として店内ディスプレイやレイアウト等店舗デザインに関わりたい。」と語りました。



受賞した黒澤理香さん

「ニッポン美肌県グランプリ2015」の結果発表会が本学で開催

株式会社ポラが毎年11月12日(イイヒフの日)に行っている「ニッポン美肌県グランプリ2015」。今年度は栄養学科の教員が肌と食の関係について考察し、「魚を丸ごと×発酵調味料」をキーワードとした提案をいたしました。それを元に栄養学科の学生が美肌に良い栄養素を効率よく摂取できる

学園のバックボードが完成

イベントやインタビュ写真撮影時の背景に使用されるバックボードを制作しました。板橋総務課にて貸出・管理しています。組立て式で大きさは横・2,924mm、縦・2,215mmです。本学園アピールのツールとしてぜひお使いください。問合先・総務課



完成したバックボード

教育充実基金へのご寄付のお願い

本学は、平成27年10月1日に、大学、短大、高校、中学校、幼稚園等の教育等充実を目的として寄付金受け入れのための「学校法人渡辺学園東京家政大学教育充実基金」を新たに設けました。●本学は、明治14年の創立以来、多くの方々のご支援を頂いてきましたが、この基金は本学のさらなる発展を願ってくださる皆様に財政的支援をお願いし、皆様のお心を形にして未来へつなげていきたいと考え開設したものです。●ご寄付の方法は、東京家政大学ホームページ(www.tokyo-kasei.ac.jp)にアクセスし上記ボタン(ご寄付のお願い)をクリックしていただきますと、申込み方法が参照できます。